

【 臨床研究に関する情報の公開 】

脳卒中で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する
ご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	脳卒中患者における独居退院に必要な因子の検討
2. 研究の対象者	2016年4月1日から2020年3月31日に、脳卒中(脳梗塞・脳出血)の診断で当院回復期リハビリテーション病棟に入院された方のうち、入院前が独居であった方
3. 研究期間	令和3年8月26日 ～ 令和5年3月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任者：リハビリテーション部 沢田 潤 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	回復期リハビリテーション病棟は自宅退院を最終目標としています。脳卒中発症前に独居であった方は、独居退院が最終目標となります。しかし独居退院の可否に関する全ての要因は明らかになっていません。したがって本研究の目的は、当院から独居退院に至る要因を身体機能・日常生活能力の観点から明らかにすることとします。
6. 研究の方法	本研究は後方視的観察研究です。診療録(カルテ)より身体機能評価などの情報を収集し、それらの結果を用いて、独居での自宅退院に必要な因子を検討します。個人の特定が可能な情報は解析に用いません。特に患者様に新たにご負担頂くことはありません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	診断名、年齢、性別、退院時のNational Institutes of Health stroke Scale(脳卒中の重症度)、Fugl-Meyer Assessment(運動麻痺の評価)、Motoricity Index(筋力の評価)、Functional Independence Measure(日常生活能力の評価)、住居形態(戸建てまたは集合住宅など)
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は、解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報を削除し、匿名化した上で、当院のパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。データ廃棄の際は複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は外部に漏えいすることのないように、慎重に取り扱います。研究結果は個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表される予定です。 研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出下さい。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 沢田 潤
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 沢田 潤 電話：06-6458-5821(代表)